

狛江市かわまちづくり計画の策定について

1. 計画策定の背景

「かわまちづくり」とは、自治体、民間事業者及び地元住民と河川管理者といった多様な主体の連携のもと、「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な水辺空間の形成を目指す取組のことで、国土交通省では各主体による「かわまちづくり計画の策定」や「策定後のハード施策等」に対する支援を行っています。

多摩川は狛江市における貴重な観光資源であり、天端は散歩やランニング及びサイクリングなど、市民や来訪者に利用される憩いの場となっています。第4次基本構想に掲げる将来都市像「ともに創る 文化育むまち ～水と緑の狛江～」の実現に向け、これらの資源の魅力を最大限に引き出すため、また、国とより連携をしながら利活用を推進していくため、「狛江市かわまちづくり計画」の策定に着手いたします。

2. 対象地の概要

- ・対象河川 一級河川 多摩川水系多摩川（国管理河川）
- ・対象範囲 多摩水道橋から多摩川自由ひろば付近まで（予定）



3. 検討期間

令和4年度から5年度末の2年間

4. 検討体制

狛江市多摩川利活用等庁内検討委員会と狛江市かわまちづくり計画策定協議会で検討

〈委員会等の構成〉

(1) 狛江市多摩川利活用等庁内検討委員会

所 属
政策室長
未来戦略室長
安心安全課長
地域活性課長
児童育成課長
環境政策課長
まちづくり推進課長
道路交通課長
社会教育課長

(2) 狛江市かわまちづくり計画策定協議会

区 分	人 数
学識経験者	2名以内
事業者	5名以内
町会関係者	2名以内
国土交通省職員	1名
公募による市民 ※5月頃公募予定	3名以内
環境部長	1名

5. 令和4年度の想定スケジュール

時 期	内 容
4月～6月頃	プロポーザル形式によりコンサルタント業者の選定
7月頃	委員会及び協議会の第1回会議開催
9月頃	無作為抽出による市民アンケート実施
翌3月頃	委員会及び協議会で基本方針・施策体系等の決定

6. 未来戦略会議における検討内容との関係

未来戦略会議では、令和3年度から「多摩川周辺の利活用による狛江市の長期戦略に関する施策」の検討を行っています。

かわまちづくり計画は、多摩水道橋～自由ひろばエリアにおける空間づくりについて、未来戦略会議の検討内容を活かし、事業者や住民等が参加する協議会において計画を策定していきます。